

----------*-----*-----*-----*

でこ ぼこ

CAP凸凹通信

----------*-----*-----*-----*

CAP凸凹通信 第8号 平成25年4月1日発行
 発行者: 特定非営利活動法人
 CAP凸凹神奈川
 電話&FAX 046-233-9016
 田中気付
 e-mail: info.capdekoboko@gmail.com
 HP: http://www.geocities.jp/capdekoboko



【平成24(2012)年度 活動報告】

平成24年度は、学校や保育園でのCAPプログラムに加え、フィリップモリスジャパン社の助成金を申請し県内3つの児童養護施設でCAPプログラムの提供をしました。

* 相模原市学校安全推進事業

神奈川県内のCAPグループと協力し、相模原市立小学校72校のうち14校33クラスでCAPワーク ショップを行いました。

* えびなっ子サマースクール (1校)

子ども向けワークショップ
 1年生と2年生に行いました。

* 海老名市立保育園 (5園)

就学前児向けワークショップ
 一部人形を使ったワークショップを年長児に行いました。

* 海老名市子育て支援課 虐待防止研修会

* 児童養護施設 (3カ所)

施設職員向け/子ども向けワークショップ

* 海老名市立小学校PTA (1校)

3年生向けワークショップ

* 横浜市立小学校PTA (1校)

5年生向けワークショップ

* CAP凸凹神奈川公開講座

小学校入学前の子どもと保護者向けワークショップ
 「安心して学校に通うためのCAPワークショップ」と題して、新1年生になるお子さんと保護者の方を対象にした講座を開きました。

* 神奈川県母子連

保護者向け/子ども向けワークショップ

「CAPとの出会い」

唐池学園児童指導員 安部 慎吾 様

当園は綾瀬市にある児童養護施設で、家庭に何らかの事情があって親元を離れた、2~18歳の子も達が生活しています。

職員は子ども達が安全に安心して暮らしながら自立していけるように日々支援していますが、子どもどうしのかかわりに様々な課題をかかえていました。職員の間では児童養護施設向けのCAPの取り組みを学べたらよいのではという話が以前からありました。

そんな折、昨年度CAP凸凹神奈川さんから大変ありがたい実践依頼を頂き、職員研修と小学1~4年生対象のワークショップをして頂きました。また実践の前後には丁寧な打ち合わせもして頂きました。CAPの実践は子ども達にも職員にも好評で、分かりやすく役に立つという旨の話が多く出ました。

子ども達が幸せに生きていけるように、今後も連携させて頂きたいと考えています。



CAP凸凹神奈川が今年度実施したワークショップ数と参加人数をご報告します。

平成24(2012)年度
 CAPワークショップ数と参加者数

| | 対象 | ワークショップ数 | 学団校数 | 参加者数 |
|------------|------------|----------|------|------|
| 子どもワークショップ | 就学前の子ども | 5 | 5 | 75 |
| | 小学生 | 53 | 22 | 1246 |
| | 中学生 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | 58 | 27 | 1321 |
| おとなワークショップ | 保護者・地域のおとな | 6 | 5 | 97 |
| | 教職員 | 4 | 4 | 124 |
| | 合計 | 10 | 9 | 221 |
| 総合計 | | 68 | 36 | 1542 |

「CAPワークショップを依頼して」

神奈川県母子寡婦福祉連絡協議会

母子副部長 近田 陽子 様

昨年、ひとり親家庭の交流や研鑽の為の宿泊研修を企画する段階で、講演を何にするか話し合っていた所、昔のPTA仲間がCAPの活動をしている事を思い出しました。

私達ひとり親家庭では、子どもだけで留守番する事が多く問題の対処も親1人に偏ってしまいがちです。CAPの活動内容は、私達が学んでおくべき事だと思い、子どもワークショップとおとなワークショップと別室でプログラムを受ける事となりました。

ワークショップでは、誘拐されそうになった時どうしたらいいかを学び、接し方や言葉かけ暴力とは・・・を再認識し、改めて家庭での話し合いの大切さを考えさせられました。

参加された方の反響も良く、2度の研修をお願いしました。

人ごとではなく身近な問題として表面化してきた暴力という言葉が世の中から無くなることを願ってCAPの活動をこれからも応援していきたいと思えます。

<平成24年度賛助会員様>

いつも応援していただき、ありがとうございます

五十嵐さつき様/石井洋子様/井上加代子様

海野恵子様/大谷笑子様/貝塚容子様

金指芳子様/北原里江様/珈琲ふう様

笹房子様/清水れいこ様/関口まり子様

染谷満里子様/高野麻里様/竹之内幸恵様

竹元加代子様/田中浩平様/田中峻様

田中哲男様/田中悠太様/田吹美恵子様

堤 暢子様/難波淳一様/丹羽路子様

萩原小百合様/浜津真紀子様/林まち子様

松樹俊弘様/森田真由美様/山本彰様

吉田俊彦様/他3名 (五十音順)

★賛助会員を募っています★

年会費 一口 1000円 (一口以上)

<入会お申し込みは郵便振替で受け付けています>

口座番号 00240-0-133333

加入者名 NPO法人 CAP凸凹神奈川

「監事としてCAP活動に関わって」

司法書士 吉田 昭彦 様

今年宮澤賢治の没後80年。ETVで賢治の作品に触発された映像番組を見た。有名な雨ニモマケズに「アラユルコトヲジブンヲカンジョウニイレス・・・」の一節がある。誰にもできることとは思えないが、賢治は亡くなる前の晩も訪ねてきた農民と肥料設計の話を遅くまでしたという。家人がどうするかと賢治に尋ねても嫌な顔一つせずに「お会いしましょう・・・」と臥せていた床から起き出したという。

枕元の携帯が震える、午前1時。「お亡くなりになりました、遺体の引き取りをお願いします・・・」ゴソゴソと起き出して車に乗り病院へ向かう。一昨日この病院へ転院したが、担当医からかなり厳しい身体状況と説明を受けていた。後見人となって5年以上が経過。一度入院したが比較的元気に過ごしていたのだが、この一年徐々に弱っていた。四時半、再び布団に潜り込む。賢治の万分の一でも後を追えればいいけど。

CAPの皆も同じじゃないかな。ジブンヲカンジョウニ入れていたら活動はできないよ。時間は取られるお金も掛かる目に見えない持ち出しもある・・・それでもこの活動に意味を見出すから少しでも未来のための種を撒く。「一粒の麦もし地に落ちて死なずば、ただ一つにてあらん・・・」小さな種もキット大きな木になる。暗殺される半年程前のケネディの演説。「最終的には我々の最も基本的な共通点は、皆この小さな惑星に住み、皆同じ空気を吸い、皆子どもたちの未来を大切に思っている。そして、皆死んでいく身なのだ・・・」言い換えれば、こんな気持ちでしょ。作家井上ひさしさんは喜劇を書く理由を、辛いこと悲しいことの多い世の中で、一つでも多くの笑いを届けたいからと言っていた。それぞれがそれぞれの場所で、方法で、世の中に関わって未来への糸を紡いでいけば、キット何かが変わるはず。

最後に、報酬付けてくれる時は深夜割増でお願い、十分口に糊が回るように、裁判官!